

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

**お知らせ: 次回発信日は8月4日週報(予定)**

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

◀～家庭内消費は一段回復～引き続き理解醸成・需要拡大が求められる～▶

- ・7/18週の牛乳類の家庭内消費は、前週よりも販売個数は回復したが、依然として前年を下回る水準となった。前週のぐずついた天候が好転したことに加え、祝日を含めた3日間の休日が家庭内消費を押し上げたと考えられる。牛乳については、2019年(コロナ禍前)同期比102.3%とコロナ禍前の水準を上回る販売個数となった。
- ・ヨーグルト類についても、前週よりも販売個数は増加しており、特にドリンクタイプは今年度最大の前年対比伸び率、個食タイプは今年度初めて前年を超える販売個数となった。
- ・夏休み期間に入ったことで学校給食用牛乳の需要分が減少し、季節的な需給緩和も想定されるため、家庭内需要の拡大に向けて引き続き牛乳の栄養面や経済性等の価値訴求を通じた理解醸成が重要となる。また、夏場の飲用需要に対しては、広域生乳輸送を通じた飲用牛乳の安定供給を図ることで、販売機会を逸さないよう、業界全体で幅広い需要拡大運動を実施し、需要の喚起や底上げに資する取り組みを強化することが重要となる。

## 【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(7/18週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 同97.5%、成分調整牛乳: 同97.7%、加工乳: 同97.6%、乳飲料: 同96.0%。

**牛乳類トータルでは同97.3%**

※参考: 2020年度比は、牛乳: 97.1%、成分調整牛乳: 96.5%、加工乳: 97.9%、乳飲料: 87.7%(牛乳類トータル: 95.6%)

※参考: 2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は102.3%。

・販売単価は、牛乳: 189.8円、成分調整牛乳: 174.2円、加工乳: 190.5円、乳飲料: 149.5円。

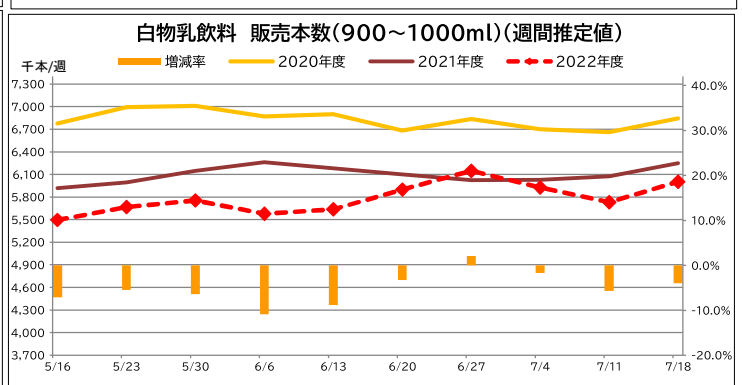
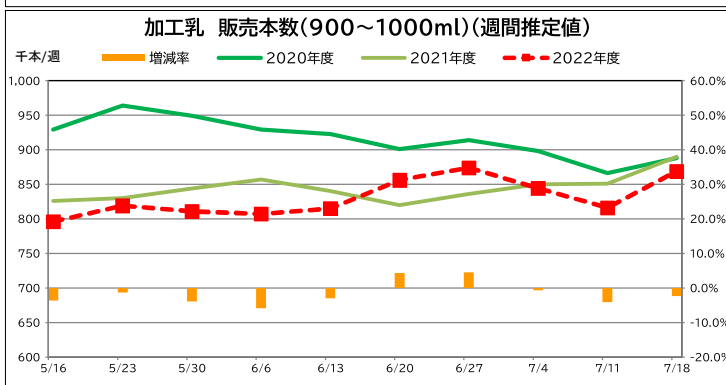
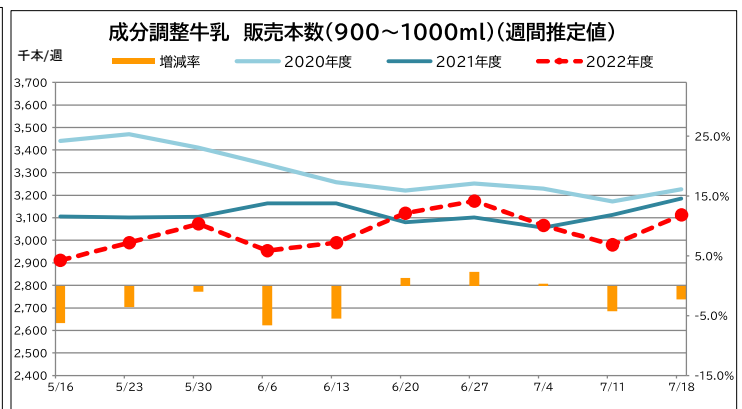
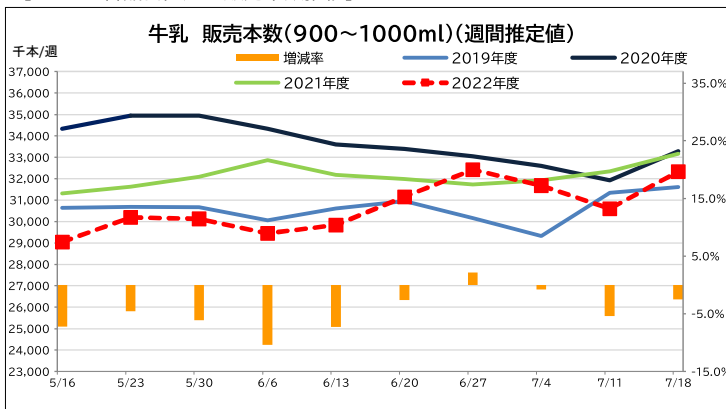
※出典: ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	5.30-	6.6-	6.13-	6.20-	6.27-	7.4-	7.11-	7.18-
トータル	販売個数	39,766	38,789	39,278	41,033	42,618	41,519	40,121	42,317
	販売個数前年比	94.3	89.9	92.7	97.7	102.2	99.2	94.7	97.3
	販売単価	183.0	182.9	182.9	182.8	182.8	182.9	183.0	183.0
牛乳	販売個数	30,127	29,451	29,835	31,157	32,421	31,683	30,594	32,332
	販売個数前年比	93.9	89.6	92.7	97.4	102.2	99.2	94.6	97.5
	販売単価	190.0	190.0	189.9	189.8	189.7	189.7	190.0	189.8
成分調整牛乳	販売個数	3,073	2,954	2,990	3,120	3,174	3,066	2,980	3,112
	販売個数前年比	99.0	93.4	94.5	101.3	102.4	100.3	95.7	97.7
	販売単価	173.4	173.8	173.6	174.1	174.1	174.4	173.7	174.2
加工乳	販売個数	811	807	815	856	874	844	816	869
	販売個数前年比	96.1	94.1	97.0	104.4	104.4	99.3	95.9	97.6
	販売単価	191.0	189.2	189.7	188.3	190.5	190.4	190.2	190.5
乳飲料	販売個数	5,755	5,578	5,638	5,900	6,149	5,927	5,730	6,004
	販売個数前年比	93.6	89.1	91.2	96.7	102.1	98.3	94.4	96.0
	販売単価	149.9	149.6	149.8	149.7	149.8	149.6	149.6	149.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



## 【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】


(1)直近の動向(表②参照)


直近(7/18週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比105%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。


(2)全ての品目において、6/20週以降4週間ぶりに前週を上回る販売個数となった。特に個食タイプは、今年度初めて前年同期比100%を超え、ドリンクタイプは今年度最大の伸び率となった。


【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績


品目	5.30-	6.6-	6.13-	6.20-	6.27-	7.4-	7.11-	7.18-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	→	→	↓	↓	↗
個食タイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	→
大容量タイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓


 : 前年比90%未満

 : 前年比105%以上110%未満

 : 前年比90%以上100%未満

 : 前年比110%以上120%未満

 : 前年比100%以上105%未満

 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。